



おぐら
尾倉

<校訓>
自主
創造
協力



令和4年8月26日(金)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなで作る尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

さあ、2学期です！～目標は自分への約束～

さあ、2学期が始まりました。みなさんの元気な顔に会えてうれしいです。夏休みはどうでしたか？3年生は勉強、勉強で大変だったという人もいるかもしれません。自分のやりたかったことの半分もできなかったと嘆いている人もいるかもしれません。新型コロナウイルス感染症が再拡大し、いろいろなところに行けなかったかもしれません。が、とにかく2学期になりました。

夏休みの目標は達成することができたでしょうか。「目標」や「めあて」は、言い換えると、「自分への約束」ですね。この「約束」について少し話をしましょう。

2学期のスタートに際して、それぞれが自分の目標を実現するために自分への約束=目標を掲げ、全員が前向きに取り組んでくれることを期待しています。

～保護者の皆様へ～

2学期が始まりました。3年生は進路決定の大切な学期であるとともに、多くの行事もあります。体育大会、文化学習発表会、高校出前授業、北九州英語村体験、保護者会など現時点では実施する方向で進めています。ただし、今後の感染状況によっては、縮小や中止も考えられますので、その際は、早めに連絡したいと思います。

しかし、「学びを止めない」を合言葉に、職員一同全力でお子さまの学校生活をサポートしていきますのでご協力お願いいたします。(なお、3年生の進路関係の提出物については期限を守ってくださるようお願いいたします。)



2学期 始業式 学校長挨拶

尾倉中学校の生徒の皆さん、おはようございます！

36日間の夏休みが終わりました。特に、3年生は一生懸命に勉強することができたでしょうか。今年の夏休みも新型コロナウイルス感染症が再拡大し、7月26日から市内のほとんどの部活動が休みになりました。夏休み後半からようやく練習は再開されましたが、悔しい思いをした人も多かったと思います。しかし、今からは、前を向き、新人戦に向けて頑張ってください。

さて、1学期の終業式で皆さんに、「自分の夢を明確にし、計画を立ててください。そして夏休みの一日一日を計画的に過ごして下さい」という話をしました。皆さんはこの夏季休業中、具体的な計画を立て、どのくらい自分を鍛えたでしょうか。

夏休み中、短い期間でしたが、部活動においては、毎日の練習はもとより、各種大会・コンクールに全力で取り組んだことと思います。校長先生も、いくらか見る機会がありました。もちろん、勝つことは大切ですが、負けることから得ることも多いと思います。「あの時こうしていれば」。「もっと練習していれば」。猛暑の中、日々練習した者だけが、こういった課題を得ることができるものと思

ました。必ず、これからの人生に生きると思います。

また、学習においても、宿題だけでなく、ひまわり学習塾や高校のオープンスクールへの参加など、2学期に向けて、そして将来に向けてがんばってくれたと思っています。しかし直ちに結果は出るとは限りませんし、成功するためには努力と失敗、そしてまた挑戦が必要です。

学習でも、部活動でも、やらなければ結果は出ません。いかに自分の夢に近づけるか。そのために努力するのです。

生徒の皆さん、長い2学期が始まりますが、「高い志をもつ」「夢をもつ」こと、

それに向けて努力することを忘れないでほしいと思います。

さて、みなさんにお願ひがあります。

2学期に大事にしてほしいことは、「協同」です。2学期は大きな行事があります。体育大会、文化学習発表会、生徒会役員改選選挙と多くの行事があります。そういう行事を通して自分自身を成長させていくのがこの2学期です。

そこで大事にしてほしいのが「協同」です。同じことをするという意味ではありません。「同じ目的に向かっていろいろな人が力を合わせて協力する」ことを表します。将来皆さんが社会に出たら、いろいろな人と協力しながら物事に取り組むことがたくさんあります。そのような力をこの中学校時代にぜひ身に付けてほしいと思います。

体育大会や文化学習発表会の取組の中で、意見の違いがあるかもしれません。しかし、むしろそれを出し合うことによってよりよいアイデアや準備ができるのではないのでしょうか。注意することは、「協同」とは「人と同じことをする」という意味ではありません。人にはそれぞれ個性があり、考え方や意見の違いがあります。違うのが当たり前なのです。この「違いを大切にする」ということが大事です。人と話すことが得意な人もあれば苦手な人もいる。足の速い人もあれば遅い人もいる。同じものを見ても感じ方は違う。違うのが当たり前なのです。この「人はそれぞれ違う」つまり、個性ということを実践しながら、「協同」に取り組んで行ってほしいと思います。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症の中での行事になるかもしれません。どのような形になろうとも、尾倉中プライドを忘れず、保護者の方や地域の方に尾倉中の力を見せてください。それだけのパワーがみなさんにはあります。

素晴らしい2学期になることを期待して、校長先生の話とします。



1学期 終業式 学校長挨拶

尾倉中の生徒の皆さん、おはようございます。

4月7日に始まった1学期が、もう終わろうとしています。約100日間あった

1学期、良いことや嬉しいことがいくつもありました。そのうちの幾つかを紹介します。

5月は3年生が京都、奈良、大阪へ修学旅行に行きました。また、2年生がSDGs体験学習に行きました。

6月には、尾倉中の生徒の挨拶の素晴らしさを表すうれしい出来事がありました。地域の方から、手紙が届きました。女子の生徒が、いつもさわやかな挨拶をしてくれるというお礼でした。大変うれ

しかったです。また、1年生がもじ少年自然の家でふれあい活動を行いました。

そして、本校の授業を見にこられた、地域の方々、保護者の方々から「授業を受けている生徒の様子が、大変まじめで熱心である。休憩時間中の挨拶もよくしてくれる」、感心し、「さすが尾倉中の生徒だ」と言っておられました。また、その後の部活動の活動の様子にも、感心されていました。先生も、大変誇らしく思いました。

さて、皆さんの1学期はどうだったでしょうか。良いことや嬉しいことはあったでしょうか。4月の始業式では、2点お話ししました。1点目は「清々しい挨拶、心地よい環境」です。健全な心と体を育てるためには、さわやかで清々しい挨拶、言葉遣い、服装、そして学ぶ環境が大切です。2点目は「挑戦」です。高い志をもち、自分の夢に挑戦することです。特に、「高い志をもち、挑戦する」ということができたでしょうか。生徒の皆さん、一人一人に聞きます。

○ 「高い志をもち、挑戦する」ことができたでしょうか？

○ それぞれ将来に向けて夢をもち、取り組めたでしょうか？

○ 自分自身を甘やかさず、鍛えることができたでしょうか？

○ そして、成長できたでしょうか？

学期の終わりという、節目にあたる今日、次の三点について、自分の姿を振り返ってみてください。

○ 学習や尾倉中の決まり守るといった、生徒として、しなければならないこと

○ 挨拶や掃除といった、日常生活のこと

○ 早寝・早起き、熱中症対策、コロナ対策といった健康に関すること

全てが、目標達成に繋がることです。できたこと・できなかったことを確認し、再び挑戦のスタートを切っていきましょう。

夏休みを迎える皆さんに、幕末の志士に影響を与えた吉田松陰のことは紹介します。

○ 夢なき者に理想なし ○ 理想なき者に計画なし

○ 計画なき者に実行なし ○ 実行なき者に成功なし

○ 故に夢なき者に成功なし

夢や目標をもたない人には成功は訪れませんが、具体的な計画を立てない人も成功にたどり着かないという意味だと思います。まずは、小さくてもいいので、自分の夢や目標を明確にし、計画を立ててください。そして夏休みの一日一日を計画的に過ごして下さい。

とりわけ3年生は、一生で一番勉強したといえる夏休みにして下さい。卒業後の進路実現のために努力を続けてください。応援しています。

1学期中、尾倉中のみなさんが、しっかりと新型コロナウイルス感染症対策の徹底をしてくれたおかげで、からだの健康と学校の安全・安心を守ることができました。そして、「できることは何か」をみんな考えてくれたおかげで、多くの行事を成功させることができました。2学期もさらに「安全・安心、もっと笑顔の絶えない、毎日来たくなる学校」になることを期待して、校長先生からの話とします。2学期の始業式に元気な姿を見せてください。以上です。